

## ● 八女福島のまちづくりの経緯 ●

○1991年（H3・4）

- ・ 超大型台風 17号・19号により町家の被害甚大
- ・ 市民若手の有志で町並み保存の勉強会が始まる

○1993年（H5）

- ・ まちづくり団体「八女・本町筋を愛する会」発足
- ・ 「八女町屋まつり」 スタート
- ・ 町並み保存を公約に掲げた若い市長が誕生

○1994年（H6）

- ・ まちづくり団体「八女ふるさと塾」発足

○1995年（H7）

- ・ 「八女福島町並み保存会」発足（住民組織・12町内会）
- ・ 「街なみ環境整備事業」の導入、町家の修理・修景事業の開始

○1996・1997年（H8・9）

- ・ 伝統的建造物群保存対策調査（2カ年）
- ・ 情報発信施設「八女市横町町家交流館」オープン（造り酒屋を改修、憩いの空間）

○1998年（H10）

- ・ 「八女福島町並みガイドの会」発足（現・八女市観光案内人の会前身、町並み案内）
- ・ 「雛の里・八女ぼんぼりまつり」スタート

○2000年（H12）

- ・ 「NPO法人 八女町並みデザイン研究会」発足（地元建築集団）

○2001年（H13）6月

- ・ 「八女市文化的景観条例」制定、伝統的建造物群保存地区の都市計画決定

○2002年（H14）5月

- ・ 「重要伝統的建造物群保存地区」に国選定、町家の修理事業が大幅拡大

○2003・2004年（H15・16）

- ・ 「NPO法人 八女空き家再生スイッチ」発足（歴史的建築物再生活用）
- ・ 「NPO法人 八女町家再生応援団」発足（空き町家再生活用）
- ・ 「八女福島空き家活用委員会」発足（移住者受入活動を地域で全体化）

○2005年（H17）・・・「景観法」（全面施行）

○2006年（H18）

- ・ 「第29回全国町並みゼミ八女福島大会」の本市開催（10月・約800名参加）

○2007年（H19）

- ・「丸林本家・主屋3棟を再生」社会貢献ファンドの仕組みを確立

○2008年（H20）・・・「歴史まちづくり法」（11月施行、名称：地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律、市町村の歴史的風致維持向上計画を国に認定）

○2009年（H21）

- ・「八女福島白壁ギャラリー企画室」発足（若者が参加企画）

○2010年（H22）

- ・日本ユネスコ協会連盟のプロジェクト未来遺産に第1号登録  
（デザイン研究会と町家再生応援団の協働活動＝八女文化遺産再生プロジェクト）
- ・市街地の都市計画道路3路線の廃止等見直し決定（12/25告示）

○2011年（H23）

- ・第2回 作事組全国協議会総会・シンポジウムの本市開催（3月・150名参加）
- ・「NPO法人 まちづくりネット八女」発足（空き町家再生活用）

○2012年（H24）

- ・第34回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会の本市開催（5月400名参加）
- ・「八女文化遺産保存・活用ネットワーク」が発足（通称「八女町家ねっと」として、町並みデザイン研究会、町家再生応援団、空き家再生スイッチ、まちづくりネットが共同で前年にホームページ開設）

○2013年（H25）

- ・ドキュメンタリー映画「まちや紳士録」製作（8月八女福島のまちづくりを記録し検証）
- ・「まちや紳士録」の全国上映を開始

○2014年（H26）

- ・「第9回JTB交流文化賞」を受賞（1月）
- ・「第36回サントリー地域文化賞」を受賞（9月）

○2015年（H27）

- ・「旧・八女郡役所」の再生事業を開始（7月）

○2016年（H28）

- ・自治体学会賞「田村明まちづくり賞」を受賞（8月）

○2017年（H29）

- ・「旧八女郡役所」（大規模歴史的建築物）オープン（3月）
- ・「第5回九州町並みゼミ八女福島大会」の本市開催（9/30、10/1月・220名参加、国の重伝建地区へ選定15周年記念）